

12月定例会 一般質問通告一覧表

1 障がい者支援	田中 雅光
1 満天橋について 2 宝満の市について 3 一人親家庭のとりくみについて	松村 みやこ
1 子育て支援について	田代 和誠
1 国民健康保険について 2 介護保険について	竹腰 昭
1 スタンダード教育について 2 土地利用の推進について 3 あたらしい地域づくりについて	入江 和隆
1 男女共同参画の推進について	百瀬 光子
1 第2次男女共同参画計画の策定について 2 子育て支援について	新原 善信
1 市民の利便性向上と安心なまちづくりについて 2 子育て支援について	城山 雅朗
1 高齢化（高齢者）対策について	佐藤 尚武

個人質問

高齢者の健康づくりについて



佐藤尚武議員
(維新の会)

人生は健康で長生きが一番だと思いますが、①医療費の現状、②高齢者の健康づくり、③高齢者が安心して外出できるように側溝・歩道及び公園のトイレの整備推進についてお尋ねします。

予算を確保し側溝の整備や歩行区域の整備等、スピード感を持って推進します。トイレについては、今後、公園の整備を行うときに、設置や洋式化への整備も含めて十分に検討します。



市民の利便性向上と安心なまちづくりの追求



城山雅朗議員
(清和会)

市民の利便性向上と安心なまちづくりの徹底を図るために、①コンビニでの住民票等各種証明書の取得システムは、庁舎駐車場の混雑緩和、人件費等のコスト削減、曜日を問わず早朝から夜間まで各種証明書の取得が可能などのメリットが多く、導入すべき、②

徘徊認知症高齢者の早期発見や市民が危険を感じた時の避難場所として、コンビニなど地域の民間事業者と見守りの協定を結ぶべき、③子育て世代が安心して就労し仕事が続けられるよう、また今後、病児・病後児の預かりも可能なファミリー・サポート・センターの設置を急ぐべきだと考えますが、見解をお尋ねします。

市長―①現在、「三国」と「あすてらす」のサービスセンターでも各種証明書の発行をしており、今後の検討課題にしたいと考えています。③一時預かり事業の充実やシルバーママサービス等を考慮しながら、設置に向けて運営方法等を検討していきます。

保健福祉部長―②県がコンビニや他の事業者との提携を進めており、状況を踏まえながら進めていきたいと考えています。

もっと女性参画を



新原善信議員
(市民クラブ)

①平成16年策定の第1次男女共同参画計画の施策評価について。②現在策定中の第2次計画の新規事業、成果指標と評価システムについてお尋ねします。

市長―①教育啓発についてはセミナーを年2回開催していますが、若年層の参加が少ない状況です。また、広報に「女と男」のパートナーシップを毎月掲載しています。審議会等委員への女性登用は、26.3%で、目標の35%に達していません。市民意識調査では、暴力の相談窓口を知らない人が51.7%と多く、啓発や周知が必要です。また、男女間の暴力防止には、家庭や学校での教育が必要との回答が多くありました。②新規施策として、暴力の防止に向けた若年層への啓発、医療関係者、民生委員、教育者等との連携による暴力被害者の早期発見、労働教育の推進、介護者への啓発等を掲げていま

す。また、成果指標として計画の数値目標を設定し、実施状況を毎年報告します。

男女共同参画の推進について



百瀬光子議員
(公明党)

①身近な人からの暴力による痛ましい事故が増えていきます。本市におけるDV被害者支援の状況について。②また、ワンストップで対応できる総合相談窓口設置の取り組みについて。③男女や世代を問わず食育の推進は必要ですが、男性の生活力向上の一環としての食育の推進についてお尋ねします。

市長―①DV被害者が行政手続きをする際、円滑に手続きが出来るように関係各課が情報を共有しながら支援する体制をとっています。③男性にとって料理をすることは日常生活を送る上で必要な生活力の1つと認識しています。「男の料理教室」や地域における食育講座等の取り組みを行なっており、今後も講座の

充実を図っていききたいと思えます。総務部長―②今後、状況等を見ながら検討していききたいと思えます。

保健福祉部長―③食生活改善推進委員への男性の参加についても、募集や色々な啓発を行っていききたいと思えます。



▲男の料理教室

土地利用の推進について



入江和隆議員

①平成24年9月議会でも問いかけたように本郷・基山線沿道にサービス施設が建設できるよう、農地転用の制度上の困難があっても路線指定を推進すべきと考えます。②甘木鉄道の立野駅と小郡駅の間で住宅建築や企業誘致も含

めた地域活性化策を提案します。市長のお考えをお尋ねします。

市長―①現状では一般県道である本郷・基山線の路線指定は難しい状況ですが、引き続き県と協議します。②周辺の道路整備等の費用や周辺地域の皆様の新駅設置ニーズについて把握を行います。

都市建設部長―①1市2町を経由する国道500号のバイパス的役割になりますので引き続き県と協議します。②周辺地域は鉄道駅を新設すれば駅から300メートル以内は農地転用が原則許可される区域であり、マスタープランでも工業・流通業務エリアと位置づけています。新駅を設置することになれば流通業務機能の集積や計画的な住宅系の誘導も可能と考えます。

国民健康保険特別会計の赤字解消について



竹腰 昭議員
(共産党)

小郡市は医療費削減の努力をしています。国保は大き

な赤字をかかえています。以前から一般会計より国保に繰り入れをしている他市の累積赤字はわずかです。国保加入者の多くは非正規労働者を初めとする被用者と年金生活者などの無職者です。年金額は下がる一方で国保税の値上げは理不尽です。まず一般会計から国保特会に予算を繰り入れ、赤字解消をすべきだと考えますが、市長の考えをお尋ねします。

市長―国民健康保険は特別会計ですので、独立採算で運営するのが原則です。ただ低所得者が比較的多く厳しい現状です。他市では一般会計の中から繰り入れをしているところもあり、市としても一般会計からの繰り入れも検討しなければいけないと思っています。ただ、それを先行するのはなく一定の保険料の改定も合わせて検討したいと思えます。一挙に7億円の赤字を解消することは厳しく、単年度赤字が出ない現状の中で数年かけて赤字の解消に向け取り組んでいきたいと思えます。

保育の 環境整備を早急に



田代和誠議員
(市民クラブ)

現在、待機児童がいる本市ですが、保育現場の環境整備の遅れが大きな原因と考えられます。①保育士の確保、②保育士の待遇改善、③発達障害児への環境整備、これからの対策をお尋ねします。

市長―①県の保育士就職支援センターを活用していきま
す。また、国が保育士試験の
受験資格認定基準の改正や資
格取得のための費用補助など
も行っていきます。②十分な休
暇をとれるような勤務体制づ
くりの指導が現在行われてお
り、メンタルヘルス研修につ
いても県に要望しています。
私立保育園における保育士等
処遇改善臨時特例事業費補助
金の成果も踏まえ、今後どの
ように改善していくのか近隣
市町の状況を見ながら検討し
ていきます。③受け入れ態勢
と加配保育士に対する補助を
どのように行っていくのか検
討していきます。また、保護

者への支援として、保育所や
幼稚園、小学校と保護者の情
報共有を図り、一貫した継続
性のある支援を充実するた
め、就学サポートノートの活
用について検討していきたい
と思います。

端間自歩道橋「満天橋」 の安全性について



松村みやこ議員

自転車と歩行者の専用橋が
暫定開通しました。延長12
0m、幅4m、欄干に市花、
藤の花をあしらったバルコニ
ーつきの立派な橋です。しか
し、道路に接続する取付道路
は安全性に欠けると利用者か
ら多数の指摘があつていま
す。特に右岸のスロープ付階段は
24%の勾配があり大変危険で
す。①設計についてどのよう
な協議がなされたのか。②今
後の安全対策はどのように対
応されるのかお尋ねします。

市長―①道路設計に関する基
準及び技術指針を基本に、地
元説明会において設計内容を
確認していただき、県と協議

を行いながら詳細設計を行っ
ています。②今後は利用状況
を見ながら、必要に応じて安
全施設の設置を検討してい
きたいと考えています。

都市建設部長―②右岸側のス
ロープ付階段は非常に危険な
状態なので工事完成までの
間、午前7時から午後7時ま
で補助員を配置します。ま
た、県と協議し、前倒しで26
年秋ごろの工事完成を目指
しています。



▲端間自歩道橋「満天橋」

障がい者支援について



田中雅光議員
(公明党)

①国がおこなう障害福祉サ
ービスでは利用限度額を設定
していますが、地域生活支援

事業等では限度額の設定があ
りません。他市では、障害福
祉サービスに合算して地域生
活支援事業の利用者限度額を
設定したり、児童デイサービ
スの利用者負担を全額支援し
ている市町村もあります。今
後、小郡市独自の負担軽減
策を考えていますか。②医療
的ケアに対応できる通所施設
が近隣には少ないので充実が
求められますが、検討してい
ますか。

保健福祉部長―①他市の状況
も踏まえ、サービス提供につ
いて先行的に実施している自
治体等の利用負担の軽減状況
を参考にしながら検討を進め
ていきたいと思えます。②通
所施設の利用は時期によつて
定員いっぱい、希望しても
利用できないという課題はあ
ります。小郡市単独では体制
の問題も含めて難しい課題だ
と思えますので、近隣の状況
を見ながら場合によっては広
域的な取り組みも必要ではな
いかと思えます。

常任委員会 審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会は、12
月5日に開催され、付託を受
けた執行部提出議案11件(分
割付託1件を含む)の審査を
行いました。主な質疑は次の
とおりです。

平成25年度小郡市一般会計 補正予算(第3号)の承認に ついて(議案第82号)

小郡中学校改修事業880
万円を増額は、小郡中学校の
井戸水から基準値を超えるテ
トラクロロエチレンが検出さ
れたため、井戸水から水道水
に切り替えるための工事費用
です。

問・学校施設においては、將
来的に水道水に切り替えてい
く計画ですか。

答・井戸水の使用については、
文部科学省が基準を定めてお
り、現在、小郡小、立石小、
三国小、立石中が飲料用とし
て使用しています。教育委員
会としては、基準値内であれ